

演説会 暮らしを守り抜く—— あなたの願いを日本共産党に



(写真) 左から、はたやま、志位、伊藤の各氏



日本共産党の志位和夫議長は12日、埼玉県・大宮駅前で街頭演説し、7月の参院選での、はたやま和也予定候補ら比例5予定候補全員の勝利、埼玉選挙区での伊藤岳予定候補（参院議員）の必勝を3000名をこえる大勢の有権者に訴えました。志位氏は「物価高騰からどうやって暮らしを守るか」「トランプのアメリカとどう向き合うのか」一二つの大問題で打開の道筋を示しました。

志位氏は、伊藤議員が6年間で180回を超える国会質問を行った事などを紹介し、『命を大切にする政治』に情熱をもやし、親しみやすく、笑顔で頑張る、素晴らしい政治家です。「2度目の勝利を必ず」と呼び掛けました。



(写真) 志位和夫議長の訴えを聞く人たち＝12日、さいたま市大宮区

埼玉・大宮駅前
3000人超え

参院選必勝、志位議長が訴え

共産党躍進で実現させよう！

暮らしを守る一三つの緊急提案

- ①、消費税廃止めざし緊急に5%減税、インボイス廃止——1世帯平均で年間12万円減税、物価高騰から暮らしを守る最も効果的、年間11兆円の大企業バラマキ減税やめて実現します。
- ②、物価上昇をはねとばす大幅賃上げを——大企業の内部留保増加分に時限的課税、10兆円を中小企業の直接支援にあて、「最低賃金をすみやかに1500円に引き上げ1700円」をめざします。
- ③、物価高騰による医療・介護の崩壊を食い止め、ケア労働者の賃上げをはかる——緊急に国費5000億円投入し、医療崩壊の事態打開をはかります。ただちに「訪問介護報酬引き下げ」の撤回を。国費の負担割合を10%増やし1、3兆円を投じ、崩壊を止め介護従事者の賃上げを行います。

大軍拡を中止し、税金は暮らしへの願い、憲法9条を生かした外交の力で平和な東アジアへの願いを、日本共産党へ託してください



比例5人全員ワンチームで

●選挙区予定候補——



群馬選挙区(新)
高橋 たもつ



茨城選挙区(新)
高橋 誠一郎



埼玉選挙区(現)
伊藤 岳

制度解説

参議院選挙は2回投票します。1回目は選挙区で「候補者名」を、2回目は比例代表で、日本共産党など政党名で、候補者名でも有効です。

外交 トランプ関税、米に撤回求め 国内の雇用対策とるよう要求

—与野党党首会談で田村委員長—



(写真) 会談する与野党の代表。左から2人目は田村智子委員長＝4日、国会内

トランプ米大統領の一方的な関税政策の発表を受け、石破茂首相は4日、与野党の党首と国会内で会談しました。

日本共産党の田村智子委員長は「トランプ関税は、国際ルールに一方的に違反し、各国の経済主権を侵害する暴挙であり、日本政府は米

国に抗議し撤回を求めるべきだ」と主張。同時に、国内の雇用を守るため万全の対策を取るよう求めました。また、日本共産党は4日、「トランプ関税対策本部」を設置しました。「国内産業や雇用、暮らしへの影響を調査し、支援の要請など」に取り組めます。

今、各国の経済主権や食料主権を土台とした 「新たな公正な貿易ルール」が必要！

アメリカの首都ワシントンで5日、トランプ政権に対する大規模な抗議デモが行われました。中心部に多数の市民が結集、「(民主主義や大事な権利・制度に)手を付けるな」「トランプ(大統領)は退陣せよ」などのシュプレヒコールを繰り返しました。行動は他の米主要都市でも行われ、国内外1300カ所以上で同様の抗議行動がありました。



(写真) トランプ米政権への抗議デモ＝5日ワシントン

「民主主義に手をつけるな」
「退陣を」——全米1300カ所
超、トランプ政権に抗議デモ

能動的サイバー法案——先制攻撃に道開く危険 衆院内閣委で可決 塩川鉄也 衆院議員が反対討論



(写真) 4日、衆院内閣委で反対討論に立つ塩川鉄也議員

国民の通信情報を常時収集・監視し、政府の判断で警察・自衛隊がサーバーに侵入・「無害化」できる「能動的サイバー防御法案」が4日の衆院内閣委員会で一部修正され、自民、立民、維新、国民民主、公明などの賛成多数で可決しました。日本共産党と、れいわ新選組は反対しました。

塩川議員は反対討論で、第一に

「送受信者の同意なく、通信情報をコピーでき、『通信の秘密』を根本から覆す違憲立法だ」と批判。第二に「憲法と国際法が禁じる先制攻撃に踏みこむ危険があり、断じて容認できない」と指摘。

また、警察が令状なしに、実力行使が可能なことは「令状主義の形骸化と警察権力の肥大化」をもたらすと強調しました。